

兵庫県のにり漁場環境情報 (神戸市、東浦海域 4号)

海域全般にキートセロス・スケルトネマ等、多種の珪藻類が確認され、湾奥部の海水の影響が見られる神戸地先(東須磨～塩屋)・神戸沖で多い状況です。そのため、窒素は神戸地先で2～4 $\mu\text{g-at/L}$ 台、東浦地先で1～2 $\mu\text{g-at/L}$ 台、神戸沖で概ね1 $\mu\text{g-at/L}$ 前後と神戸沖では大きく低下しています。

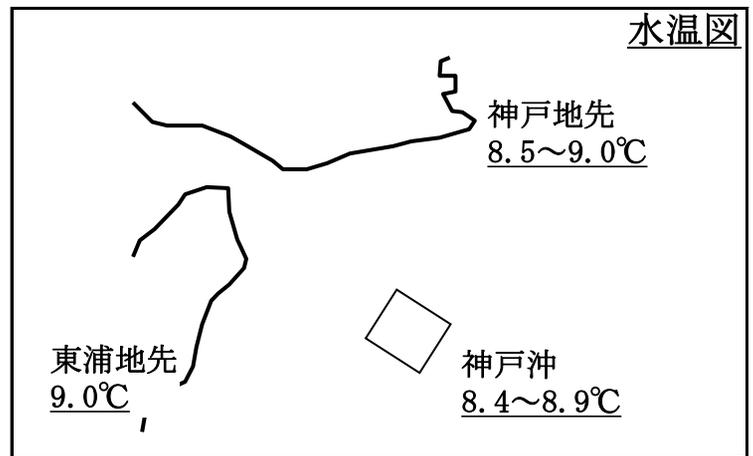
(水温) 神戸地先は平均8.6℃、神戸沖は平均8.5℃、東浦地先は平均9.0℃。
 (塩分) 神戸地先：31.38～32.65psu。神戸沖：32.00～32.73psu。東浦地先：32.80～32.85psu。

(珪藻・栄養塩)
 海域全般にキートセロス・スケルトネマに加え、リゾソレニア・ニッチア等、多種の珪藻類が確認されます。また、ユーカンピアも確認されますが、10細胞/ml以下と少ない状況です。
 神戸地先(東須磨～塩屋)・神戸沖では小型珪藻が多く発生しているため、リンの値が大きく低下していた。

		前回値	今回値	平年値	昨年値
神戸地先	水温	9.8	8.6	9.8	8.9
	窒素	2.5	3.4	3.8	3.7
	リン	0.39	0.12	0.27	0.43
神戸沖	水温	9.5	8.5	9.8	8.9
	窒素	3.1	0.8	2.5	2.5
	リン	0.38	0.11	0.28	0.42
東浦地先	水温	10.1	9.0	9.8	8.7
	窒素	1.9	1.8	2.5	2.4
	リン	0.40	0.35	0.34	0.44

(1/28)

(2/14)



栄養塩 (窒素) 図

※窒素・リンの平均は1-⑦を除く。

2026年 2月13日調査

満潮～下げ始め (東流)

調査時間 ; 8:07～10:21

